

# 令和5年度 たつの市まち未来創生戦略推進委員会

日 時：令和6年3月4日（月）

午後2時～午後3時半

場 所：たつの市役所災害対策本部(兼)大会議室

出席者：委員15名、事務局

## 1 開 会

委嘱状交付

## 2 委員長及び副委員長の選出について

委員長に草薙委員、副委員長に徳永委員を選出

## 3 協議・報告事項

(1) 令和4年度たつの市まち未来創生戦略推進委員会委員意見に係る取組状況について

(2) たつの市の現状について

(3) 「たつの市まち未来創生戦略」の基本目標・施策の検証及び評価について

(4) 令和5年度の主な取組について

(5) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について

## 4 意見交換

## 5 閉会

### －市長挨拶－

本日は、公私ともご多用のところ、ご臨席賜り、誠にありがとうございます。さて、年初に発生しました能登半島地震は、甚大な被害をもたらしました。本市においても早急に、職員13名を被災地に派遣し支援しているところです。併せまして、令和6年度の新年度予算には、災害時に避難所としても活用しています中学校体育館に空調設備を設置していく予算も計上いたしました。また、少子化対策におきましては、来年度、新たに「こども家庭センター」を設置し、子育ての相談支援体制を強化するとともに、デジタル母子健康手帳をはじめ、「子育て支援アプリ」を導入し、子育て世代へのサポートを充実させてまいります。ハード整備では、「山陽自動車道龍野インターチェンジ周辺の区画整理事業」や「JR竜野駅周辺整備」を進め、次世代へとつながる事業に投資してまいります。本日御出席の委員の皆様には、本市の「まち未来創生」に向け、様々な分野から忌憚のないご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

### －委員長挨拶－

兵庫県立大学副学長の草薙でございます。これまで、高坂誠学長が永らくこちらでお世話になっておりましたが、この度、学長になられたということで後任にご指名くださいましたので、大変僭越ではございますが、この場に来させていただきました。どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。高坂学長からは、この会について要望が1つございまして、女性がいないではないかと、女性を必ず入れるようにというふうにおっしゃったそうですけども、すでに女性委員が当委員会に参画されており、本当にたつの市がこの会をどれだけ重要視されてるかがよくわかります。皆様のご意見がよく反映されますように私も努力して参りますので、どうかよろしく願いいたします。

－会議要旨－

事務局より、取組状況等の説明を行い、主な意見等の要旨は次のとおり	
協議・報告事項 (1) 令和4年度たつの市まち未来創生戦略推進委員会委員意見に係る取組状況について (2) たつの市の現状について (3) 「たつの市まち未来創生戦略」の基本目標・施策の検証及び評価について	
委員	資料を拝見してたんですけども、我々メディアとしては、難しい話から、楽しいやわらかい話まで両方とも取り上げたい。特にラジオの場合、観光プロモーションとか、まちづくりとか、移住とか、そういう一般の方向けに、情報を送り出せたらいいなと思っております。たつの市の中心部を見ても大阪から移住し、開業されている方や、東京から移住し、革のショップを開業されている方とかに取材に行きますが、そういう人たちに、たつのの魅力の発信を呼びかけております。谷五郎というパーソナリティがおり、4月から日曜日の放送ということで、取材活動を平日にたくさんやりたいなと思っております。観光プロモーション事業や御津の観光PRのことなど、もし何か情報がありましたら、どんどん応援していきたいと思っております。また、花見の時期になれば、たつのの良さを語れるような人がおられましたら、神戸のスタジオまでお越しいただき、録音、編集し、情報を出すことも、我々としては望むところです。是非ともこの委員会に参画させていただいておりますので、ご一緒に展開できたらと思います。
委員	人口問題は、たつの市だけの問題ではなく日本全国、兵庫県でもそうであり、立ち向かっていくのは非常に難しいと思っています。特に、合計特殊出生率を含め自然減については、結婚が前提になってきますが、若い人たちの人生感が変わっているのだと思いますし、コロナで大きく変わったのはもう間違いないと思います。ただ一方で、社会増減については目標には達していないものの、ファミリー層に対しての移住政策は非常に効果が出てるのかなと見ております。また、10代20代の転出に歯止めがかからないという分析がありますが、これはもうある種仕方がないのだと思います。どこの地域に限らず、高校を卒業し、就職される方、大学へ行かれる方、違うパターンもありますが、やりがい求めて転出をしていく。したがって、どういうふうに戻ってきてもらうのか、大学卒業してすぐに返ってこなくても、第2新卒というものもありますが、そういう方たちにどうアプローチしていくのか。住むということを考えるとたつのは非常に良いところだと私は思っております。町並み、歴史文化、食など非常にプラス面がありますので、去年も申し上げましたが、時間がかかるかもしれませんが、ブランド化していくことで、効果が出てくるのではないかと考えております。 また、就職時に地域に貢献したいと、住んでいる街に人生を捧げたいと思っている学生も非常に増えています。先ほどの住み心地と雇用が重要だと思います。やりがい求めているので、たつの市でどういう仕事ができ、どう暮らしていけるか等のビジョンがさらに進化すれば良いなと思います。今年予算では、龍野IC周辺の大型商業施設の誘致及び龍野西IC周辺の産業団地の調査が計上されておりますが、私どもの紙面でも予算関係の記事を書かせていただいておりますが、やはりこの2点に大きく注目していますし、周辺自治体も非常に関心を持たれて

	<p>おり、都市間競争の中でたつの市に取られてしまうのではないかとおわれています。</p>
委員	<p>開発が進まない問題に対して何年も前から言っておりますが、何が邪魔をしているかと言いますと、やはり市の中心部だけが人口密度が増え、利便性が良くなっています。しかし、地方に行けばスーパーやホームセンターでも来てくれないような状況となります。いわゆる、まちづくりに適していないからです。</p> <p>以前から提案していますが、市営住宅の1階、2階に店舗を入居させ、その上に入居者に住んでいただくことで、ひとつの街（コンパクトシティ）が成り立ち、店舗の経営も出来るのではないかと考えています。これまでと同じような市営住宅では、住む人も減ってきます。</p> <p>また、結婚しても女性が気に入る街でないと住みません。本市の郊外から出てきて、本市に住み続けたいと思っている方は小宅地域に住んでいる方が多いのが実情です。</p> <p>自分が住みたい場所に必要最低限のものが揃っている所が、やはり住み良いところであり、そういう場所を探し求めています。本市であればバイパスやICに近く利便性が良い場所が基本となります。片吹ランプ周辺の土地利用規制の課題に対し、国や県に早く要望する必要があります。企業が立地したいと思えるまちづくりが出来ていないように感じます。このことを前向きに考えていかなければ難しいと思います。</p>
委員	<p>今回初めてこの委員会に出席させていただいております。この中で女性1人ということで、私は相生市から、御津に嫁ぎ37年になりますが、ここに来てよかったと思っています。子供が3人（20代・30代）おりますが、私が結婚したときは親世帯と同居でしたが、今の若い方達は同居することが嫌で、核家族が増えています。また、利便性の良い市の中心部に新築の家を建てたいという若者が増えています。移住定住施策に一定程度効果があったと思いますが、市の中心部に人が集まり、過疎地域の新宮地域をはじめ、御津地域のような市の郊外に人が住まなくなり高齢化が進んでいるのが現状だと思います。</p> <p>同居に関しては、子育てをしていく上で良い面と悪い面とがあり、私たちの年代と今の若い人たちとの意識は大分違うのではと思います。</p> <p>育児に男性が関わる機会も増えていますが、まだまだ男性社会であり、本会でも女性の割合が低いと感じます。</p> <p>本市は「子育てするならたつの市」のスローガンのもと、様々な子育てしやすい施策を展開しておりますが、もっとPRをしていくべきだと思います。</p> <p>また、御津地域は駅もなく公共交通が便利とは言い難く、今後改善していただくことで、市の中心部だけでなく郊外にも人が増えるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>NHKの番組で「いいいじゅー」という移住にスポットを当てた番組が放送されており、ムードを煽っているような、お気楽に見えますが番組に出演している人たちが実際どうやって食べているのか、どうやって生活しているのかが必ずしも分かりません。結局のところ、移住促進には地場にある企業がしっかりと採用していく、また、企業が採用していくための支援策が必要になると思います。</p> <p>当社でも、地元でなかなか採用できない場合があります、九州まで説明会に出向き2名採用したこともあります。</p> <p>その方達が当社に定着し結婚し、ここで住まいを始めるということになると、</p>

	<p>名実ともに、たつのの人口が増えるということになります。</p> <p>既にある企業が人材を採用し、定着させていくための行政からの支援策があれば、まずは既にある企業が雇用促進することができると思います。</p> <p>また併せて、創業に対しての支援です。</p> <p>あともう1つは、在宅勤務者への支援です。全国的な企業というのは、どこに住んでいても仕事ができるような形に雇用の体制を整えています。そういう企業に勤めている方々に転入し定住してもらおうとなると、会社側の支援は必要なく、自宅の Wi-Fi や機器等などの整備に対し支援することも1つの方法だと思います。</p> <p>これまであまり在宅勤務で、地方都市を目指し移住するという方々は大きくクローズアップされてないように思います。</p> <p>この3つの側面、既にある会社への支援、業を起こす方への支援、そして、在宅勤務の方々への支援策を考えていけば良いのではないのでしょうか。</p> <p>それから、先日、千葉県の流山市への転入者が非常に多いことが紹介されました。子育て、教育、医療などの支援が非常に手厚いのは勿論ですが、子どもたちの面倒を見る保育士さんへの支援も非常に手厚くされておられます。市民に対する支援は当然考えますが、それらを受入れる側に対する支援も考えていかなければ人口は増えないのだと、やや複雑な思いをしました。</p>
委員	<p>先程から人口の話がでていますが、人口を増やすには住宅地の確保をお願いします。例えば、廃校になった学校等の運動場を利活用すれば、姫路市で土地を買うより安く住むことができます。</p> <p>また、御津地域は公共交通が一番不便なところですが、公共交通会議において、たつの市から姫路市へ市域を跨ぐ広域路線を議論していますが、なかなか話が進まないことから前向きに検討していただきたいと思います。</p>
委員	<p>公共交通会議はバスやタクシー等の事業者に迷惑をかけてはならないという法律のもと成り立っており、バスやタクシー事業者の同意がなければ前に進みません。たつの市と姫路市を跨ぐ広域路線となると両市の公共交通会議で承諾いただく必要がございますので、私からも姫路市市議会議長に会う機会があればお願いさせていただきます。</p>
事務局より、取組状況等の説明を行い、主な意見等の要旨は次のとおり	
<p>協議・報告事項</p> <p>(4) 令和5年度の主な取組について</p> <p>(5) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について</p>	
委員	<p>人口減少は非常に難しい課題であり、定住人口が減っていくところを交流人口で補うことも重要だと思います。龍野 IC 周辺地区の大型商業施設誘致については、県においても都市計画等の手続きを市と一緒に進めており、数年後には何とか実現するのではと考えています。</p> <p>ただ、大型商業施設が立地したことで広範囲から買い物客は来ますが、周辺地域に波及効果がなければ非常に勿体ないこととなります。たつの市にとって交流人口を増やす大きなチャンスであり、周辺地域に波及効果が広まるような仕掛け、戦略を誘致とセットで考えていく必要があると思います。</p> <p>また、県では大阪関西万博に向けフィールドパビリオンを展開しており、たつの市からは2件が認定され、今後2件が追加予定です。龍野城下町周辺もお店が</p>

	<p>増え、魅力的で面白い場所になりつつあり、県民局も協力させていただきながら情報を発信していきたいと思います。</p> <p>J R竜野駅については、橋上化により駅北側からのアクセスが可能となることで利便性が飛躍的に向上すると思います。また、このことで駅北側の土地価格が上昇し、商業地や住宅需要も増えるのではと予想しております。周辺には田んぼや畑が広がる場所もあり、土地利用規制等の課題はございますが、将来性のある地域ですので住宅地を開発することで、定住人口の増加に繋がるのではないかと思います。</p>
委員	<p>フィールドパビリオンでは、当社も醸造体験プログラムの一つとして参加しており、プレミアムプログラムに認定を受け、先般、齋藤知事にもお越しいただいたところで、今後が楽しみなところです。</p> <p>龍野地区では若い方も含め様々な方が活動されており、直ぐに商品化までとはいきませんが、今月には本市初となるクラフトビールが誕生する予定です。また、これら各種団体等が連携し龍野地区を発展させていくため「龍野みらい舎」を発足し、まちづくりを進めています。先月には第2回龍野城下町バルを開催しましたが、飲食店は現在60件ほどに増えており、土日のみならず平日昼間の人口も増えている印象で、これまでの取組成果がでてきていると感じています。また、「ゐの劇場」(旧かねみ醤油)を、醸造の起点として体験型観光スポットとする等の新たな事業も計画しており、行政とも連携し引き続き様々な取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>人口減少には非常に危機感を感じています。たつの市を知り1年も経過しておりますが、この地で働き、感じていることは、お客様からも子や孫が地元に残ってくれないとの声をよく聞きます。当支店は神戸市以西の中でも顧客数も多く広範囲に営業範囲を抱えています。その反面、地域貢献がなかなかできていないと反省しており、5年10年先のたつの市に役立てることがないか考えさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>高校を卒業した若者がどこに就職しているかと言いますと、私の周りでは姫路の大手企業に就職する方が多いです。たつの市には工場を建てる場所がないのが課題であり、民間が農地を確保するところから始めるには困難なため、行政が全力でバックアップするという決意を持ち取り組まなければ、新しい企業の立地、この地で就職する若者は少なくなると思います。</p> <p>また、住みやすい街という中では、安心して出産ができる体制も必要ではないでしょうか。市内では新たな民間病院の建設も予定されており、産婦人科を設置するよう働きかけをお願いします。そうすれば、また魅力的な街になると思います。</p>
委員	<p>創業支援や企業誘致は非常に重要であり、今後も力を入れていただきたいと思います。加えて、既に立地している企業が存続していくことも重要なことであり、例えば後継者問題では、事業が順調であっても事業継続を諦めないといけないのは非常に勿体ないことだと思います。M&amp;Aをはじめとする行政からの支援の仕組みもあれば良いなと思います。</p>
委員	<p>雇用確保については、セミナー等を開催し人材確保、育成に努めておりますが、人口減少が進み、先が見えない非常に難しい時代になっていると感じています。</p>
委員	<p>資料にて説明のあった就職フェアについては、参加者66名、相談件数(累計)</p>

	<p>100件超えと、参加者1名当たり2件程度の相談を受けており、このエリアでは予想より多い結果となりましたが、実際の採用に繋がった方が4名と少ない印象です。</p> <p>産業界へのお願いは、若年者、新規の高卒を求められる企業が多い状況ですが、現実に高卒での就職希望者はある意味、絶滅危惧種に類する様な状況となっております。</p> <p>中高年や氷河期世代をはじめ、ベテランでも現場で十分役に立つ方はおられますので視線を広げていただきたいと思います。</p> <p>また、企業誘致という点では、新たに立地したにも関わらず働き手が無く、相談にお越しいただく企業も少なからずおられます。</p> <p>今の若年者は車に乗らない方も増えており、やはり駅周辺や公共交通機関の利便性が良いところに魅力があると思います。したがって、まずはじめの入口として、交通利便性の良い場所に誘導し、その次に中に目を向けていただくといった施策も考えてみてはどうでしょうか。</p> <p>「たつので働くサポートブック」を作成いただいておりますが、これまでの紙媒体のみではなく、ハローワーク内のデジタルサイネージ等を活用した動画でのPRも非常に有効だと感じますので検討をお願いします。赤穂市のハローワーク出張所では、市と連携し企業紹介動画を作成、放映していますが、就職に繋がっているケースもあります。</p>
委員	<p>民生委員としては子ども、高齢者を見守っておりますが、高齢者の民生委員は成り手が少なく、定年制度を廃止した状況です。子どもに関しては、新宮地域では小学校の統廃合が予定され人口減少を如実に感じています。</p>
委員	<p>先日、兵庫県のエコツアーとして親子で工場見学に来られました。また、私自身も県内や他府県の小学校やこども園に出向き味噌づくり体験を行っています。子どもたちが自ら体験し、学ぶことが今は貴重とされておりますので、引き続き教育分野も、そのような方向に向かっていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>議論も尽きませんが、このあたりで締めさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。</p>